



Cisco Secure Network Server 3600 シリーズ アプライアンスハードウェア設置ガイド

初版：2023年6月11日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（ www.cisco.com/jp/go/safety_warning/ ）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

The documentation set for this product strives to use bias-free language. For purposes of this documentation set, bias-free is defined as language that does not imply discrimination based on age, disability, gender, racial identity, ethnic identity, sexual orientation, socioeconomic status, and intersectionality. Exceptions may be present in the documentation due to language that is hardcoded in the user interfaces of the product software, language used based on standards documentation, or language that is used by a referenced third-party product.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

| | |
|---|----------|
| Cisco Secure Network Server 3600 シリーズ アプライアンスの概要 | 1 |
| Cisco Secure Network Server 3600 シリーズ アプライアンス | 1 |
| Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスハードウェアの仕様 | 1 |
| 外部機能 | 3 |
| ステータス LED およびボタン | 6 |
| 前面パネル LED | 6 |
| 背面パネル LED | 9 |
| 内部診断 LED | 11 |
| サービス可能なコンポーネントの場所 | 12 |
| サーバー機能の概要 | 14 |

第 2 章

| | |
|-------------------------------------|-----------|
| アプライアンスの設置 | 17 |
| 設置に関する警告およびガイドライン | 17 |
| ラックに関する要件 | 18 |
| ラックへのアプライアンスの設置 | 19 |
| ケーブル マネジメント アームの取り付け (任意) | 22 |
| ケーブル マネジメント アームを逆に取り付け (任意) | 23 |
| 初期設定 | 24 |
| 設定時のアプライアンスへのローカル接続 | 25 |
| 設定時のアプライアンスへのリモート接続 | 26 |
| Cisco IMC 設定ユーティリティを使用したシステムのセットアップ | 27 |
| BIOS および Cisco IMC のファームウェアの更新 | 29 |
| システム BIOS へのアクセス | 30 |
| スマート アクセス (シリアル) | 30 |

第 3 章

サーバの仕様 33

サーバの仕様 33

物理仕様 33

環境仕様 33

電力仕様 34

770 W AC 電源装置 34

1050 W AC 電源装置 35

1600 W AC 電源装置 36

1050 W DC 電源装置 37

電源コードの仕様 38



第 1 章

Cisco Secure Network Server 3600 シリーズ アプライアンスの概要

- [Cisco Secure Network Server 3600 シリーズアプライアンス](#) (1 ページ)
- [Cisco SNS 3600 シリーズアプライアンスハードウェアの仕様](#) (1 ページ)
- [外部機能](#) (3 ページ)
- [サービス可能なコンポーネントの場所](#) (12 ページ)
- [サーバー機能の概要](#) (14 ページ)

Cisco Secure Network Server 3600 シリーズアプライアンス

Cisco Secure Network Server (SNS) 3600 シリーズアプライアンスは、幅広いワークロードで高いパフォーマンスと効率性を提供するように設計されています。

Cisco SNS 3600 シリーズアプライアンスは Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) のセキュアブート機能をサポートしています。この機能は、Cisco ISE の署名付きイメージだけを Cisco SNS 3600 シリーズアプライアンスにインストールできるようにし、デバイスに物理アクセスしたとしても未署名のオペレーティングシステムはインストールできないようにします。たとえば、Red Hat Enterprise Linux や Microsoft Windows などの一般的なオペレーティングシステムは、このアプライアンスで起動できません。

Cisco SNS 3600 シリーズアプライアンスハードウェアの 仕様

次の表では、Cisco SNS 3600 シリーズアプライアンスのハードウェア仕様について説明します。

表 1: Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスハードウェアの仕様

| Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンス | ハードウェア仕様 | 図 |
|-----------------------------|---|---|
| Cisco SNS-3615-K9 | <ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M5 • インテル Xeon Silver 2.1 GHz 4110、8 CPU コア、16 スレッド • 32 GB RAM • 600 GB ディスク X 1 • [RAID-0] • GbE ネットワーク インターフェイス X 6 • 物理的仕様、環境仕様、および電源仕様については、次を参照してください。 サーバの仕様 (33 ページ) | <p>図 1 : Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの前面パネル (4 ページ)</p> <p>図 2 : Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの背面パネル (5 ページ)</p> |
| Cisco SNS-3655-K9 | <ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M5 • インテル Xeon Silver 2.1 GHz 4116、12 CPU コア、24 スレッド • 96 GB RAM • 600 GB ディスク X 4 • RAID 10 • GbE ネットワーク インターフェイス X 6 • 物理的仕様、環境仕様、および電源仕様については、次を参照してください。 サーバの仕様 (33 ページ) | |
| Cisco SNS-3695-K9 | | |

| | | |
|-----------------------------|--|---|
| Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンス | ハードウェア仕様 | 図 |
| | <ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS C220 M5 • インテル Xeon Silver 2.1 GHz 4116、12 CPU コア、24 スレッド • 256 GB RAM • 600 GB ディスク X 8 • RAID 10 • GbE ネットワーク インターフェイス X 6 • 物理的仕様、環境仕様、および電源仕様については、次を参照してください。 サーバの仕様 (33 ページ) | |



(注) Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスに、メモリ、プロセッサ、ハードディスクなどのハードウェアリソースを追加することはできません。

外部機能

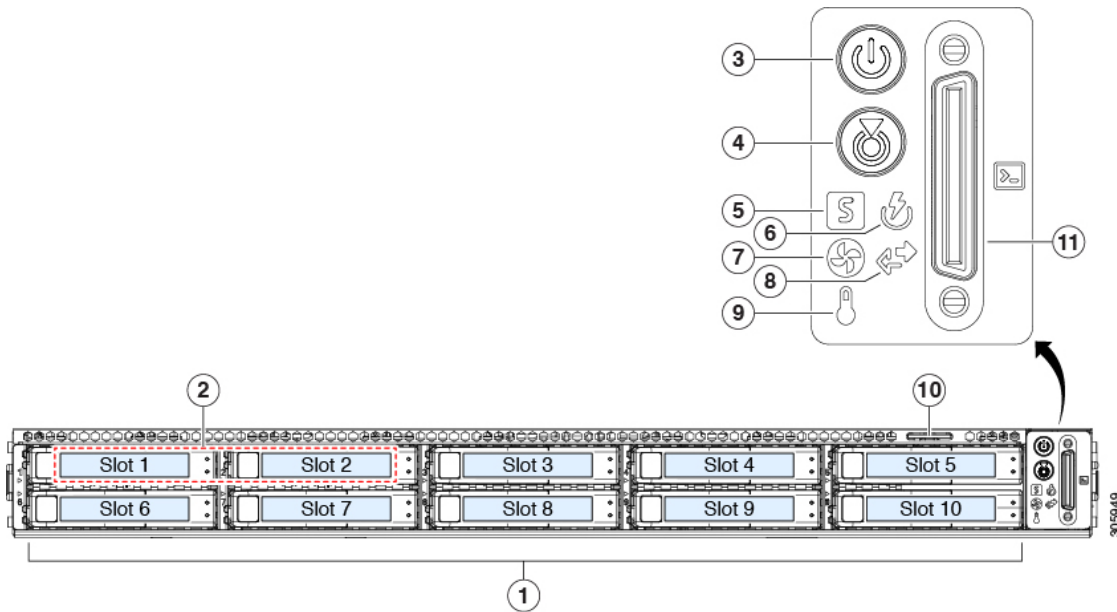
この項では、Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの外部機能について説明します。

Cisco SNS 3600 の前面パネルの機能

次の図は、Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの前面パネルの機能を示しています。

LED の状態の定義については、「[前面パネル LED \(6 ページ\)](#)」を参照してください。

図 1: Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの前面パネル



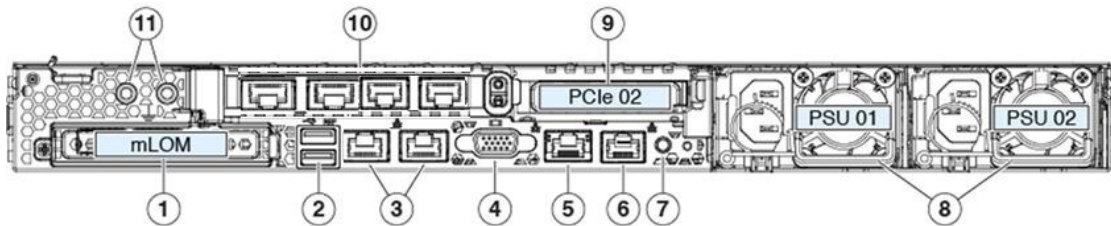
| | |
|---|--|
| 1ドライブベイ 1 ~ 10 は、シリアル接続 SCSI (SAS) および Serial Advanced Technology Attachment (SATA) ハードディスクドライブ (HDD) とソリッドステートドライブ (SSD) をサポート | 7ファン ステータス LED |
| 2ドライブベイ 1 ~ 10 は、Non-Volatile Memory Express (NVMe) ベースの Peripheral Component Interconnect Express (PCIe) SSD をサポート | 8ネットワーク リンク アクティビティ LED |
| 3電源ボタンまたは電源ステータス LED | 9温度ステータス LED |
| 4ユニット識別ボタンまたは LED | 10引き抜きアセット タグ |
| 5システム ステータス LED | 11KVM コネクタ (DB-15 VGA 1 個、DB-9 シリアル 1 個、および USB コネクタ 2 個を装備した KVM ケーブルとともに使用) |
| 6電源ユニットのステータス LED | - |

Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの背面パネルの機能

次の図は、Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの背面パネルの機能を示しています。

LED の状態の定義については、「[背面パネル LED \(9 ページ\)](#)」を参照してください。

図 2: Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの背面パネル



| | |
|---|---|
| 1 1x ジュラ LAN-on-motherboard (mLOM) カードベイ (x16 PCIe レーン) | 7 背面ユニット識別ボタンまたは LED |
| 2 USB 3.0 ポート X 2 | 8 電源装置 (2、1+1 として冗長) |
| 3 デュアル 1 Gb または 10 Gb イーサネットポート : <ul style="list-style-type: none"> LAN1 (Cisco ISE GigabitEthernet 0 インターフェイスにリンク) LAN2 (Cisco ISE GigabitEthernet 1 インターフェイスにリンク) (注) インターフェイスには左から右の順にラベルが付けられています。 デュアル LAN ポートは、リンクパートナーの機能に応じて 1 Gbps または 10 Gbps をサポートできます。 | 9 PCIe ライザー 2 または スロット 2 (x16 レーン) フロントロード NVMe SSD (x8 レーン) 用の PCIe ケーブルコネクタが付属 |
| 4 VGA ビデオポート (DB-15 コネクタ) | 10 PCIe 1 : 次の Cisco ISE GigabitEthernet インターフェイスにマッピングされている 4 つのイーサネットポート <ul style="list-style-type: none"> GigabitEthernet 2 インターフェイス GigabitEthernet 3 インターフェイス GigabitEthernet 4 インターフェイス GigabitEthernet 5 インターフェイス (注) インターフェイスには左から右の順にラベルが付けられています。 |
| 5 1 Gb イーサネット専用管理ポート | 11 デュアルホールアースラグ用ネジ穴 |
| 6 リアルポート (RJ-45 コネクタ) | - |

ステータス LED およびボタン

ここでは、前面、背面、および内部の LED の状態について説明します。

前面パネル LED

次の図は、Cisco SNS 3600 シリーズアプライアンスの前面パネルの LED を示しています。

図 3: 前面パネル LED

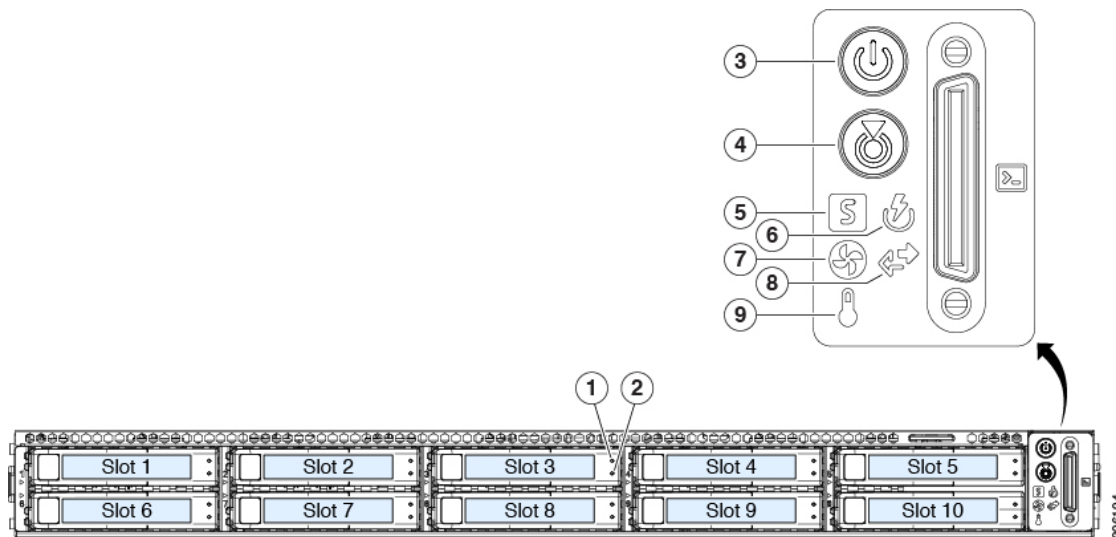


表 2: 前面パネル LED

| LED 名 | 状態 |
|--|---|
| SAS/SATA ドライブの障害 <small>(注)</small> NVMe SSD ドライブトレイの LED の動作は、SAS/SATA ドライブトレイとは異なります。 | <ul style="list-style-type: none"> 消灯：ハード ドライブは正常に動作中です。 オレンジ：ドライブ障害が検出されました。 オレンジの点滅：デバイスの再構成中です。 1 秒間隔のオレンジの点滅：ソフトウェアでドライブ位置特定機能がアクティブ化されました。 |
| SAS/SATA ドライブ アクティビティ LED | <ul style="list-style-type: none"> 消灯：ハード ドライブ トレイにハード ドライブが存在しません（アクセスなし、障害なし）。 緑：ハード ドライブの準備が完了しています。 緑の点滅：ハード ドライブはデータの読み取り中または書き込み中です。 |

| | |
|---|--|
| <p>1 NVMe SSD ドライブ障害</p> <p>(注) NVMe SSD ドライブトレイの LED の動作は、SAS/SATA ドライブトレイとは異なります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：ドライブが使用されていないため、安全に取り外すことができます。 • 緑色：ドライブは使用中で、正常に機能しています。 • 緑の点滅：ドライブがインサクションに続いて初期化を実行中であるか、またはイジェクトコマンドに従ってアンロードを実行中です。 • オレンジ：ドライブに障害が発生しています。 • オレンジの点滅：ソフトウェアでドライブ位置特定機能がアクティブ化されました。 |
| <p>2 NVMe SSD アクティビティ</p> <p>(注)</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：ドライブ アクティビティはありません。 • 緑の点滅：ドライブ アクティビティがあります。 |
| <p>3 電源ボタンまたは LED</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：サーバーに AC 電力が供給されていません。 • オレンジ：サーバーはスタンバイ電源モードです。Cisco Integrated Management Controller (Cisco IMC) と一部のマザーボード機能にだけ電力が供給されています。 • 緑：サーバーは主電源モードです。すべてのサーバーコンポーネントに電力が供給されています。 |
| <p>4 ユニット識別</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：ユニット識別機能は使用されていません。 • 青の点滅：ユニット識別機能がアクティブです。 |

| | |
|--------------------|--|
| <p>5 システムヘルス</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 緑：サーバは正常動作状態で稼働しています。 • 緑の点滅：サーバはシステムの初期化とメモリチェックを行っています。 • オレンジの点灯：サーバは縮退運転状態にあります（軽度の障害）。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源装置の冗長性が失われている。 • CPU が一致しない。 • 少なくとも 1 つの CPU に障害が発生している。 • 少なくとも 1 個のデュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) に障害が発生している。 • RAID 構成内の少なくとも 1 台のドライブに障害が発生している。 • オレンジの点滅 (2 回) : システム ボードで重度の障害が発生しています。 • オレンジの点滅 (3 回) : DIMM で重大な障害が発生しています。 • オレンジの点滅 (4 回) : CPU で重度の障害が発生しています。 |
| <p>6 電源装置ステータス</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 緑：すべての電源装置が正常に動作中です。 • オレンジの点灯：1 台以上の電源装置が縮退運転状態にあります。 • オレンジの点滅：1 台以上の電源装置が重大な障害発生状態にあります。 |
| <p>7 ファンステータス</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 緑：すべてのファンモジュールが正常に動作中です。 • オレンジの点滅：1 つ以上のファンモジュールで回復不能なしきい値を超えました。 |

| | |
|----------------------|--|
| 8 ネットワーク リンク アクティビティ | <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：イーサネット Lights Out 管理 (LOM) ポートリンクがアイドル状態です。 • 緑：1個以上のイーサネット LOM ポートでリンクがアクティブになっていますが、アクティビティは存在しません。 • 緑の点滅：1つ以上のイーサネット LOM ポートでリンクがアクティブになっていて、アクティビティが存在します。 |
| 9 温度ステータス | <ul style="list-style-type: none"> • 緑：サーバは正常温度で稼働中です。 • オレンジの点灯：1つ以上の温度センサーで重大なしきい値を超えました。 • オレンジの点滅：1つ以上の温度センサーで回復不能なしきい値を超えました。 |

背面パネル LED

次の図は、Cisco SNS 3600 シリーズ アプライアンスの背面パネルの LED を示しています。

図 4: 背面パネル LED

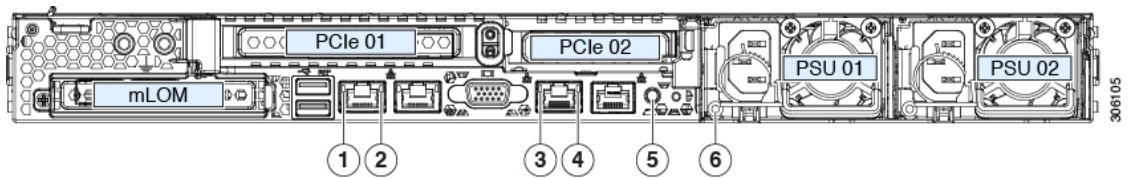


表 3: 背面パネル LED

| | LED 名 | 状態 |
|---|--|--|
| 1 | 1 Gb または 10 Gb イーサネットリンク速度 (LAN1 と LAN2 の両方) | <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：リンク速度は 100 Mbps です。 • オレンジ：リンク速度は 1 Gbps です。 • 緑：リンク速度は 10 Gbps です。 |
| 2 | 1 Gb または 10 Gb イーサネットリンク ステータス (LAN1 と LAN2 の両方) | <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：リンクが確立されていません。 • 緑：リンクはアクティブです。 • 緑の点滅：アクティブなリンクにトラフィックが存在します。 |

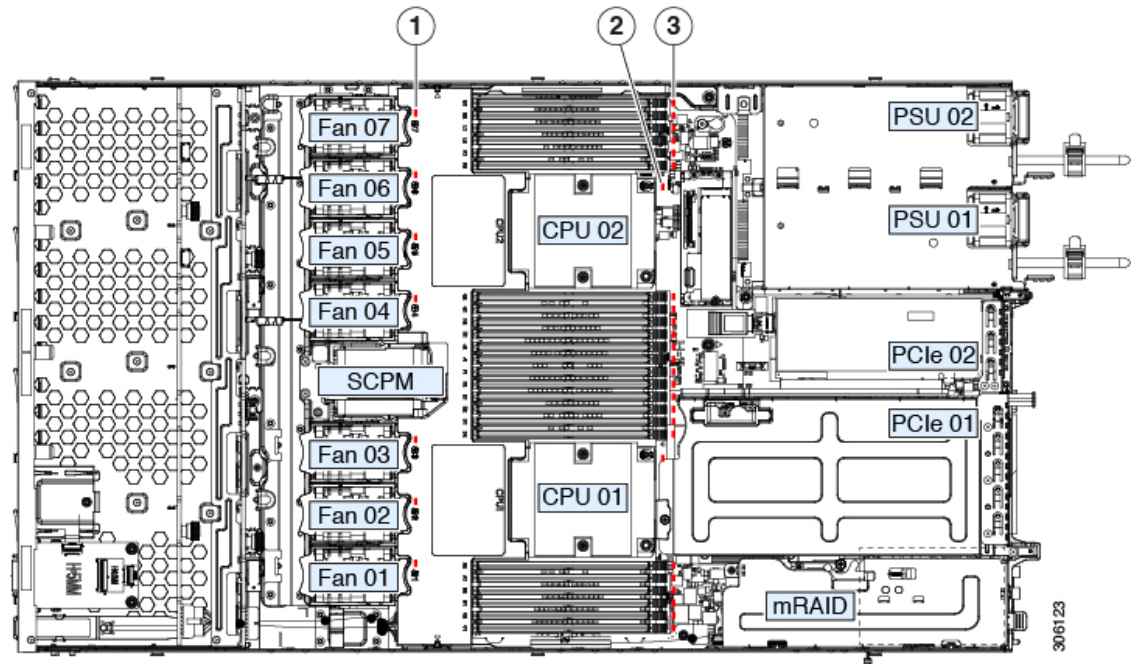
| | | |
|---|--------------------------|--|
| 3 | 1 Gb イーサネット専用管理リンク速度 | <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：リンク速度は 10 Mbps です。 • オレンジ：リンク速度は 100 Mbps です。 • 緑：リンク速度は 1 Gbps です。 |
| 4 | 1 Gb イーサネット専用管理リンク ステータス | <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：リンクが確立されていません。 • 緑：リンクはアクティブです。 • 緑の点滅：アクティブなリンクにトラフィックが存在します。 |
| 5 | 背面ユニット識別 | <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：ユニット識別機能は使用されていません。 • 青の点滅：ユニット識別機能がアクティブです。 |

| | | |
|---|-----------------|---|
| 6 | 電源の状態（各電源装置に1つ） | <p>AC 電源装置：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：AC 入力なし（12 V 主電源はオフ、12 V スタンバイは電源オフ）です。 • 緑の点滅：12 V 主電源はオフ、12 V スタンバイ電源はオンです。 • 緑の点灯：12 V 主電源はオン、12 V スタンバイ電源はオンです。 • オレンジの点滅：警告しきい値が検出されましたが、12 V 主電源はオンです。 • オレンジの点灯：重大なエラーが検出されました（過電流、過電圧、過熱障害など）。12 V 主電源はオフです。 <p>DC 電源装置：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：DC 入力なし（12 V 主電源はオフ、12 V スタンバイ電源はオフ）です。 • 緑の点滅：12 V 主電源はオフ、12 V スタンバイ電源はオンです。 • 緑の点灯：12 V 主電源はオン、12 V スタンバイ電源はオンです。 • オレンジの点滅：警告しきい値が検出されましたが、12 V 主電源はオンです。 • オレンジの点灯：重大なエラーが検出されました（過電流、過電圧、過熱障害など）。12 V 主電源はオフです。 |
|---|-----------------|---|

内部診断 LED

サーバーには、CPU、DIMM、およびファンモジュールの内部障害 LED があります。

図 5: 内部診断 LED の場所



1 ファンモジュール障害LED（マザーボード上の各ファンコネクタの後方に1つ）

- オレンジ：ファンに障害が発生しているか、しっかりと装着されていません。
- 緑：ファンは正常です。

2 DIMM 障害 LED（マザーボード上の各 DIMM ソケットの後方に1つ）

これらのLEDは、サーバがスタンバイ電源モードの場合にのみ動作します。

- オレンジ：DIMM に障害が発生しています。
- 消灯：DIMM は正常です。

3 CPU 障害 LED（マザーボード上の各 CPU ソケットの後方に1つ）

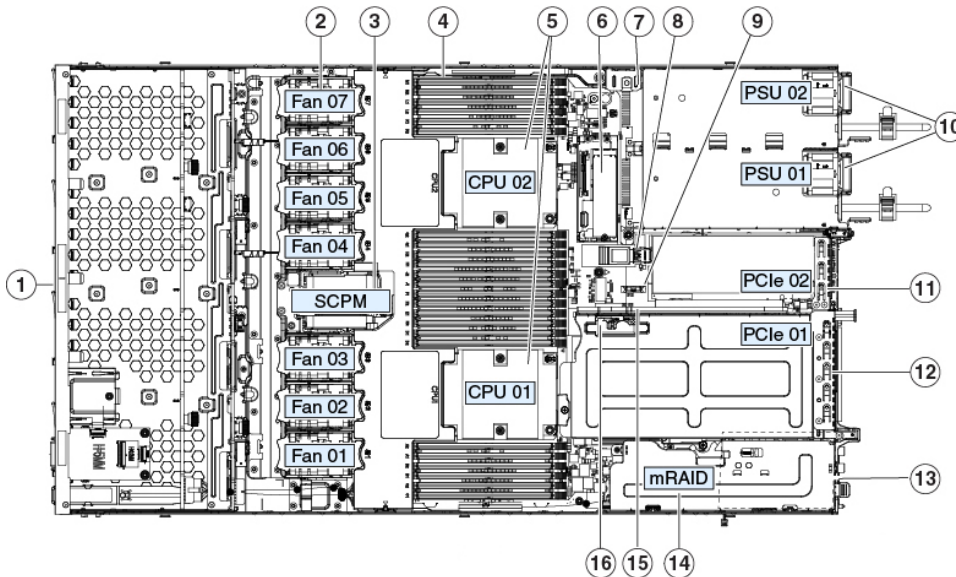
これらのLEDは、サーバがスタンバイ電源モードの場合にのみ動作します。

- オレンジ：CPU に障害が発生しています。
- 消灯：CPU は正常です。

サービス可能なコンポーネントの場所

この項では、現場で交換可能なコンポーネントとサービス関連アイテムの位置を示します。次の図に、上部カバーを外した状態のアプライアンスを示します。

図 6: サービス可能なコンポーネントの場所



| | |
|---|--|
| 1 フロントロードドライブベイ 1 ~ 10 は SAS/SATA ドライブをサポート | 9 RTC バッテリー、垂直ソケット |
| 2 冷却ファンモジュール (7 個、ホットスワップ可能) | 10 電源ユニット (1+1 冗長の場合にホットスワップ可能) |
| 3 Supercap ユニット取り付けブラケット (RAID バックアップ) | 11 PCIe ライザー 2 または スロット 2 (ハーフハイト、x16 レーン) フロントロード NVMe SSD (x8 レーン) 用の PCIe ケーブルコネクタが付属 |
| 4 ザーボード上の DIMM ソケット (CPU あたり 12 個) | 12 PCIe ライザー 1 または スロット 1 (フルハイト、x16 レーン) microSD カード用のソケットが付属 |
| 5 CPU およびヒートシンク (最大 2) | 13 シャーシ床面 (x16 PCIe レーン) 上のモジュラ LOM (mLOM) カードベイ (図示されず) |
| 6 ニストレージモジュールソケット 2つのSDカードスロットを装備したSDカードモジュール、または2つのNVMeまたはSATA M.2 SSDスロットを装備したM.2モジュールをサポート。 | 14 モジュラ RAID (mRAID) ライザー。オプションで以下のいずれかをサポート。 • ハードウェア RAID コントローラ カード • 組み込みの SATA RAID 用インタポーザ カード |
| 7 シャーシ侵入スイッチ (任意) | 15 PCIe ライザー 2 のフロントロード NVMe SSD 用の PCIe ケーブルコネクタ |
| 8 ザーボード上の内部 USB 3.0 ポート | 16 PCIe ライザー 1 の microSD カードソケット |

サーバー機能の概要

次の表に、サーバ機能の概要を示します。

| 機能 | 説明 |
|-----------------|--|
| シャーシ | 1ラックユニット (1RU) シャーシ |
| セントラルプロセッサ | <ul style="list-style-type: none"> • インテル Xeon 2.1 GHz 4110 • インテル Xeon 2.1 GHz 4116 |
| メモリ | マザーボード上に 24 個の DDR4 DIMM ソケット搭載 (CPU あたり 12 個)。 |
| マルチビット エラー保護 | マルチビット エラー保護をサポートします。 |
| ベースボード管理 | <p>Cisco Integrated Management Controller (Cisco IMC) ファームウェアを実行するボード管理コントローラ (BMC)。</p> <p>Cisco IMC 設定に応じて、1 Gb 専用管理ポート、1 Gb/10 Gb イーサネット LAN ポート、または、シスコ仮想インターフェイスカードを介して Cisco IMC にアクセスできます。</p> |
| ネットワークおよび管理 I/O | <p>背面パネル：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 Gb イーサネット専用管理ポート X1 (RJ-45 コネクタ) • 1 Gb/10 Gb BASE-T イーサネット LAN ポート X2 (RJ-45 コネクタ) <p>デュアル LAN ポートは、リンクパートナーの機能に応じて 1 Gbps または 10 Gbps をサポートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RS-232 シリアルポート X1 (RJ-45 コネクタ) • ビデオグラフィックアレイ (VGA) コネクタポート X1 (DB-15 コネクタ) • USB 3.0 ポート × 2 <p>前面パネル：</p> <ul style="list-style-type: none"> • USB 2.0 2 個、VGA 1 個、DB-9 シリアルコネクタ 1 個を装備した KVM ケーブルを使用する前面パネル KVM (キーボード/ビデオ/マウス) コネクタ X1。 |
| モジュラ LOM | 背面パネルの追加接続用に、mLOM カードを追加するために使用できる専用ソケット (X16 PCIe レーン) X1。 |
| WoL | 2 つの 1 Gb/10 Gb BASE-T イーサネット LAN ポートにより、Wake-on-LAN (WoL) 規格をサポート。 |

| 機能 | 説明 |
|-------------|--|
| 電源 | <p>2 基の電源装置。1+1 で冗長構成。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AC 電源装置の場合、各台に 770 W AC を設置 • AC 電源装置の場合、各台に 1050 W AC を設置 • AC 電源装置の場合、各台に 1600 W AC を設置 • DC 電源装置の場合、各台に 1050 W DC を設置 <p>サーバでは、タイプやワット数の異なる電源装置を組み合わせて使用しないでください。</p> |
| ACPI | Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) 4.0 規格をサポートしています。 |
| 冷却 | ホットスワップ可能なファンモジュール（前面から背面に向かう冷却用）X 7。 |
| PCIe I/O | 2 つの水平 PCIe 拡張スロット（PCIe ライザー アセンブリ上）。 |
| InfiniBand | このサーバーの PCIe バス スロットは InfiniBand アーキテクチャをサポートしています。 |
| ストレージ、内部 | <p>次の内部ストレージオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • マザーボード上の USB ポート X 1。 • ミニストレージモジュールソケット。オプションで次のいずれかが付属します。 <ul style="list-style-type: none"> • SD カードモジュール。最大 2 枚の SD カードをサポート。 • M.2 SSD モジュール。2 つの SATA M.2 SSD または 2 つの NVMe M.2 SSD のいずれかサポートします。 • PCIe ライザー 1 の microSD カードソケット X 1。 |
| ストレージ管理 | <p>次のいずれかのストレージコントローラオプションをサポートする専用の内部 mRAID ライザーがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PCIe スタイルの Cisco モジュラ RAID コントローラカード（SAS/SATA）。 • サーバーの組み込み SATA RAID コントローラ用 PCIe スタイルのインタポーザカード。 |
| RAID バックアップ | Cisco モジュラ RAID コントローラカードで使用される SuperCap ユニットの冷却ファンの近く取り付けブラケットがあります。 |
| 統合ビデオ | 統合 VGA ビデオ。 |



第 2 章

アプライアンスの設置

- [設置に関する警告およびガイドライン](#) (17 ページ)
- [ラックに関する要件](#) (18 ページ)
- [ラックへのアプライアンスの設置](#) (19 ページ)
- [初期設定](#) (24 ページ)
- [BIOS および Cisco IMC のファームウェアの更新](#) (29 ページ)
- [システム BIOS へのアクセス](#) (30 ページ)
- [スマート アクセス \(シリアル\)](#) (30 ページ)

設置に関する警告およびガイドライン



警告 安全上の重要な注意事項

この警告マークは「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。各警告の最後に記載されているステートメント番号を基に、装置に付属の安全についての警告を参照してください。

ステートメント 1071



警告 システムの過熱を防ぐため、最大推奨周囲温度の 35°C (95°F) を超えるエリアで操作しないでください。

ステートメント 1047



警告 いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐ手が届く状態にしておいてください。

ステートメント 1019



警告 この製品は、設置する建物に短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。この保護装置の定格が 250 V、15 A 以下であることを確認します。

ステートメント 1005



警告 装置は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

ステートメント 1074



警告 この装置は、立ち入りが制限された場所への設置を前提としています。立ち入りが制限された場所とは、特殊な器具、錠と鍵、またはその他の保安手段を使用しないと入れない場所を意味します。

ステートメント 1017



注意 適切なエアフローを確保するためには、レールキットを使用してアプライアンスを取り付けてください。レールキットを使用せずに、ユニットを別のユニットの上に物理的に置く、つまり積み重ねると、上部にある通気口がふさがれ、過熱したり、ファンの回転が速くなったり、電力消費が高くなったりする原因となる可能性があります。アプライアンスをラックに取り付けるときは、レールキットにアプライアンスをマウントすることを推奨します。これらのレールによりユニット間で必要な最小の間隔が確保されるため、レールキットを使用してユニットをマウントすると、間隔を余分にとる必要がありません。

アプライアンスを設置するときは、次の注意事項に従ってください。

- アプライアンス周辺に、スムーズな作業や適切なエアフローを確保できるだけの十分なスペースがあることを確認します。
- 空調が、[環境仕様（33 ページ）](#) に記載された温度要件に適合していることを確認します。
- キャビネットまたはラックが、[ラックに関する要件（18 ページ）](#) に記載された要件に適合していることを確認します。
- 設置場所の電源が、[電力仕様（34 ページ）](#) に記載された電源要件に適合していることを確認します。使用可能な場合は、電源障害に備えて無停電電源装置（UPS）を使用してください。

ラックに関する要件

次のタイプのラックを使用する必要があります。

- 標準 48.3 cm (19 インチ) 幅 4 支柱ラック、ANSI/EIA-310-D-1992 のセクション 1 に準拠した英国ユニバーサルピッチに適合するマウント支柱付き。
- 付属のシスコ製スライドレールを使用する場合、ラック支柱の穴は、9.6 mm (0.38 インチ) の正方形、7.1 mm (0.28 インチ) の丸形、#12-24 UNC、または #10-32 UNC になります。
- サーバーあたりの縦方向の最小ラックスペースは、1 ラックユニット (RU)、つまり 44.45 mm (1.75 インチ) である必要があります。

ラックの設置に必要な工具

シスコが販売するこのサーバー用のスライドレールの場合、設置に必要な工具はありません。

スライドレールおよびケーブルマネジメントアームの寸法

スライドレールの調整範囲は 610 ~ 914 mm (24 ~ 36 インチ) です。

オプションのケーブルマネジメントアーム (CMA) を使用する場合、長さの要件がさらに追加されます。

- アプライアンスの背面から CMA の背面までの距離は 137.4 mm (5.4 インチ) 追加されます。
- CMA を含むアプライアンスの全長は 894 mm (35.2 インチ) です。

ラックへのアプライアンスの設置



警告 ラックにこの装置をマウントしたり、ラック上の装置の作業を行うときは、ケガをしないように、装置が安定した状態に置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。

ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置を一番下に設置して、下から順番に取り付けます。

ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守したりしてください。

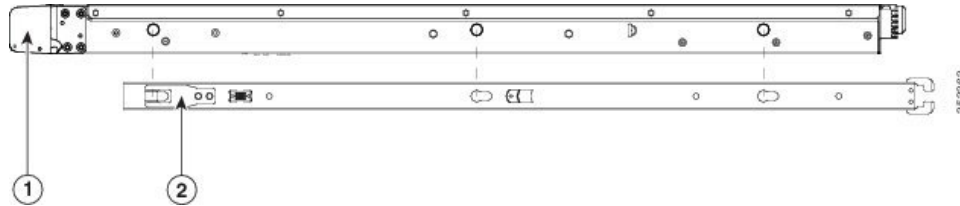
ステートメント 1006

ステップ 1 アプライアンスの側面に内側レールを装着します。

- a) レール内の 3 つのキー付きスロットがアプライアンス側面の 3 個のペグの位置に合うように、内側レールをアプライアンスの一方の側の位置に合わせます。

- b) キー付きスロットをペグに設定し、レールを前面に向けてスライドさせて、ペグの所定の位置にロックします。前面スロットには、前面ペグにロックするための金属製クリップがあります。
- c) 2つ目の内側レールをアプライアンスの反対側に取り付けます。

図 7: アプライアンスの側面への内側レールの取り付け

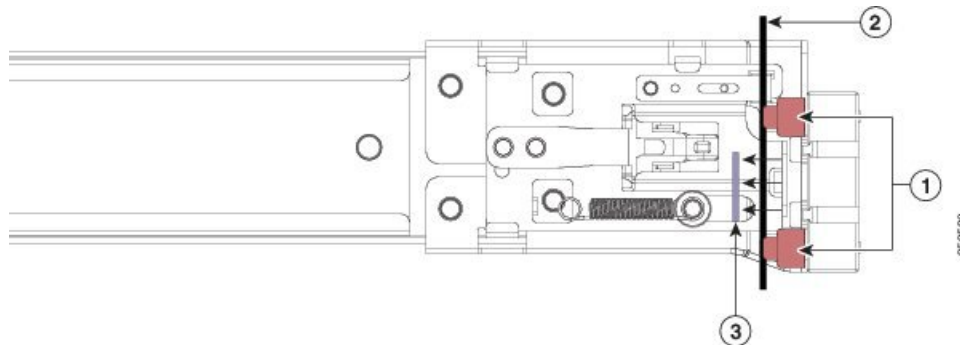


| | |
|-------------|---------------------|
| 1 アプライアンス前面 | 2 内側レール前面のロックングクリップ |
|-------------|---------------------|

ステップ 2 両方のスライドレール部品で前面の固定プレートを開きます。スライドレール部品の前端に、ばね仕掛けの固定プレートがあります。取り付けペグをラック支柱の穴に挿入する前に、この固定プレートが開いている必要があります。

部品の外側で、背面を向いている緑の矢印ボタンを押して、固定プレートを開きます。

図 8: 前面の固定部分、前端の内側



| | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1 前面側の取り付けペグ | 2 開いた位置に引き戻された固定プレート |
| 3 取り付けペグと開いた固定プレートとの間のラック支柱 | - |

ステップ 3 外側のスライドレールをラックに取り付けます。

- a) 片側のスライドレール部品の前端を、使用する前面ラック支柱の穴の位置に合わせます。
スライドレールの前部がラック支柱の外側を回り込むように配置され、取り付けペグが外側の前部からラック支柱の穴に入ります。
(注) ラック支柱は、取り付けペグと開いた固定プレートの間にある必要があります。
- b) 取り付けペグを、外側前面からラック支柱の穴に押し込みます。
- c) 「Push」のマークが付いた固定プレートのリリースボタンを押します。ばね仕掛けの固定プレートが閉じて、ペグが所定の位置にロックされます。

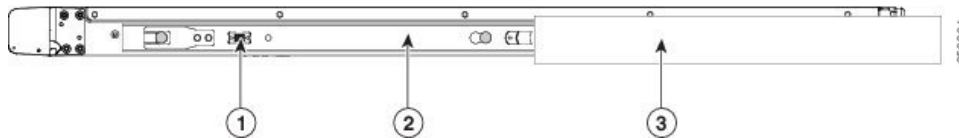
- d) スライドレールの長さを調整したら、背面取り付けペグを対応する背面ラック支柱の穴に差し込みます。
背面取り付けペグを、ラック支柱の内側から背面ラック支柱の穴に入れます。
- e) 2つ目のスライドレール部品を、ラックの反対側に取り付けます。2つのスライドレール部品が同じ高さであり、水平になっていることを確認します。
- f) 所定の位置に収まって留まるまで、各部品の内側のスライドレールをラック前方へ引き出します。

ステップ4 アプライアンスをスライドレールに装着します。

注意 このアプライアンスは、コンポーネントがフルに搭載されている場合、最大で 27 kg (60 ポンド) の重量になります。サーバーを持ち上げるときは、2人以上で行うか、リフトを使用することを推奨します。この手順を1人で実行しようとする、怪我や機器の損傷を招くおそれがあります。

- a) アプライアンスの側面に装着されている内側レールの後端を、ラック上の空のスライドレールの前端の位置に合わせます。
- b) 内部の停止位置で止まるまで、内側レールをラック上のスライドレールに押し込みます。
- c) 両方の内側レールで内側レールリリースクリップを背面に向けてスライドさせたら、前面のスラムラッチがラック支柱に収まるまで、アプライアンスをラックに押し込みます。

図 9: 内側レールリリースクリップ



| | |
|--|--------------------------|
| 1 内側レールリリースクリップ | 3 ラック支柱に装着されている外側スライドレール |
| 2 アプライアンスに装着され、外側のスライドレールに挿入されている内側レール | - |

ステップ5 (任意) スライドレールに付属の2本のネジを使用して、アプライアンスをラックに固定します。アプライアンスを取り付けたラックを移動する場合は、この手順を実行します。

アプライアンスをスライドレールに完全に押し込んだ状態で、アプライアンス前面のヒンジ付きスラムラッチのレバーを開き、レバーの下にある穴からネジを挿入します。ネジがラック支柱のレールの静止部分に挿入され、サーバーが引き抜かれるのを防ぎます。反対のスラムラッチについても行ってください。

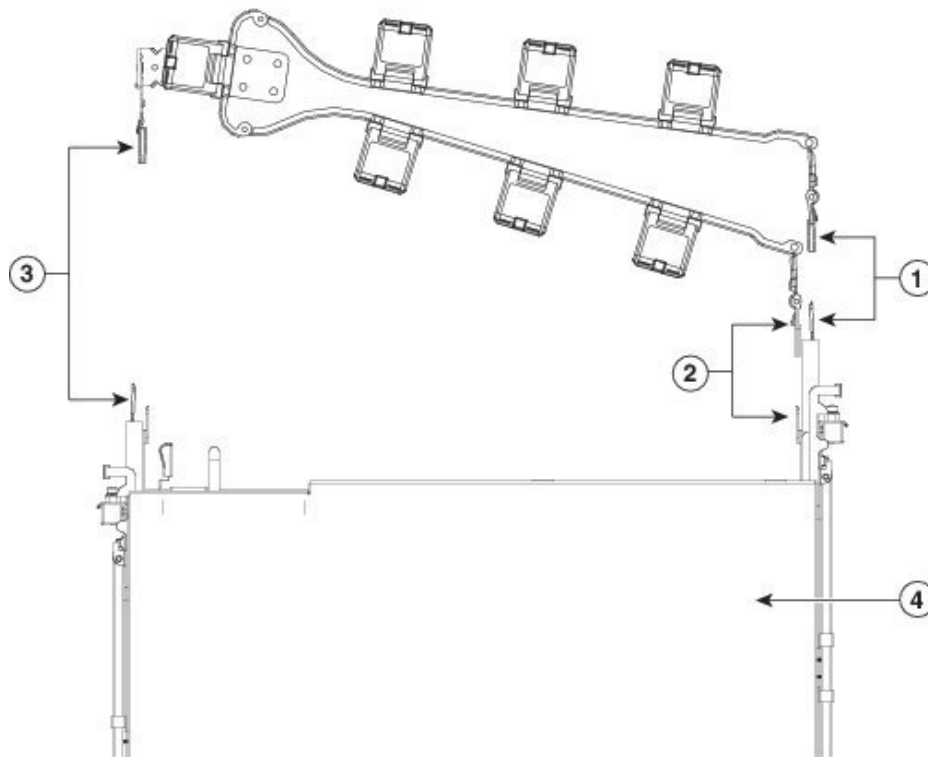
ケーブル マネジメント アームの取り付け (任意)



(注) ケーブルマネジメントアーム (CMA) は、左右を逆にして取り付けることができます。CMA を逆に取り付けるには、取り付け前に [ケーブルマネジメントアームを逆に取り付け \(任意\) \(23 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 1 アプライアンスをラックに完全に押し込んだ状態で、アプライアンスから最も離れた CMA アームの CMA タブを、ラック支柱に装着された固定スライドレールの終端にスライドさせます。カチッと音がしてロックされるまで、タブをレールの終端にスライドさせます。

図 10: スライドレール後端への CMA の取り付け



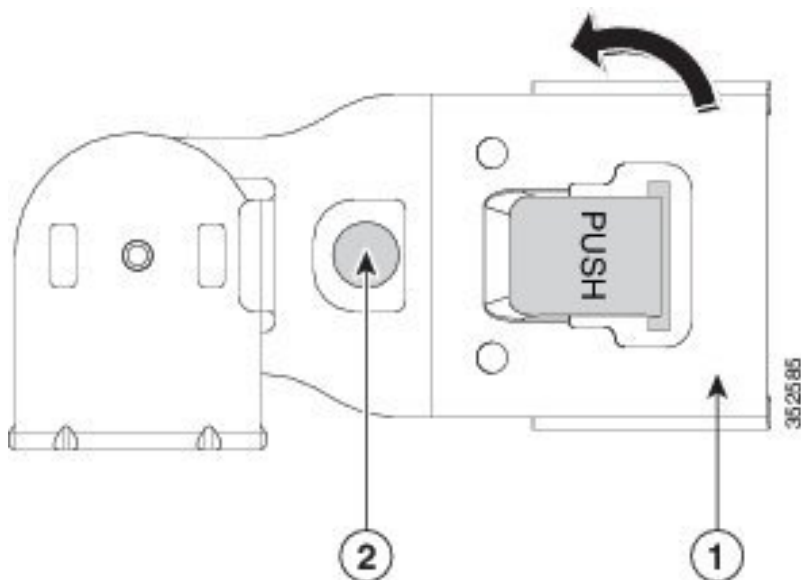
| | |
|--|---|
| <p>1 アプライアンスから最も離れたアームの CMA タブは、外側の固定スライドレールの終端に取り付けます。</p> | <p>幅調整スライダの CMA タブは、外側の固定スライドレールの終端に取り付けます。</p> |
| <p>2 アプライアンスに最も近いアームの CMA タブは、アプライアンスに装着された内側のスライドレールの終端に取り付けます。</p> | <p>4 アプライアンス背面</p> |

- ステップ2 アプライアンスに最も近い CMA タブを、アプライアンスに装着された内側レールの終端にスライドさせます。カチッと音がしてロックされるまで、タブをレールの終端にスライドさせます。
- ステップ3 CMA アセンブリの反対側の終端にある幅調整スライダを、ラックの幅まで引き出します。
- ステップ4 幅調整スライダの終端にある CMA タブを、ラック支柱に取り付けられている固定スライドレールの終端に押し込みます。カチッと音がしてロックされるまで、タブをレールの終端にスライドさせます。
- ステップ5 各プラスチック製ケーブルガイドの上部でヒンジ付きフラップを開き、必要に応じてケーブルガイドを通してケーブルを配線します。

ケーブル マネジメント アームを逆に取り付け（任意）

- ステップ1 ケーブルマネジメントアーム（CMA）アセンブリ全体を、左から右へ180度回転させます。プラスチック製ケーブルガイドは、上を向いたままにしておく必要があります。
- ステップ2 アプライアンスの背面を向くように、CMA アームの終端でタブを反転させます。
- ステップ3 幅調整スライダの終端にあるタブを回転させます。タブの外側の金属ボタンを長押しし、アプライアンスの背面を向くようにタブを180度回転させます。

図 11: CMA の反転



幅調整スライダの終端の CMA タブ

タブの外側の金属ボタン

初期設定



(注) この項では、初期設定のためにシステムに接続する方法について説明します。

アプライアンスのデフォルト設定

アプライアンスは次のデフォルト設定で出荷されます。

- NIC モードは *Shared LOM EXT* です。
共有 LOM 拡張 (Shared LOM EXT) モードでは、1 Gb/10 Gb イーサネットポートおよび取り付け済みのシスコ仮想インターフェイスカード (VIC) 上のすべてのポートから Cisco IMC にアクセスできます。10/100/1000 専用管理ポートを使用して Cisco IMC にアクセスする場合は、「[Cisco IMC 設定ユーティリティを使用したシステムのセットアップ \(27 ページ\)](#)」の説明に従って、NIC モードを変更できます。
- NIC の冗長性はアクティブ-アクティブです。すべてのイーサネットポートが同時に使用されます。
- DHCP は有効になっています。
- IPv4 は有効です。

接続方法

システムに接続して初期設定を行うには、次の 2 つの方法があります。

- ローカル設定：キーボードとモニターをシステムに直接接続して設定を行う場合は、この手順を使用します。この手順では、KVM ケーブル (Cisco PID N20-BKVM) またはアプライアンスの背面にあるポートを使用できます。
- リモート設定：専用管理 LAN 経由で設定を行う場合は、この手順を使用します。



(注) システムをリモートで設定するには、システムと同じネットワーク上に DHCP サーバーが存在する必要があります。このサーバーノードの MAC アドレスの範囲を、DHCP サーバーにあらかじめ設定しておく必要があります。MAC アドレスは、前面パネルの引き抜きアセットタグにあるラベルに印字されています。このサーバーノードでは、Cisco IMC に 6 つの MAC アドレスの範囲が割り当てられています。ラベルに印字されている MAC アドレスは、6 つの連続 MAC アドレスのうち最初のもので、

設定時のアプライアンスへのローカル接続

この手順には、次の機器が必要です。

- VGA モニタ
- USB キーボード
- 次のいずれかです。
 - サポートされている Cisco KVM ケーブル (Cisco PID N20-BKVM)
 - USB ケーブルおよび VGA DB-15 ケーブル

ステップ 1 電源コードをアプライアンスの各電源装置に接続し、次に、接地された電源コンセントに各コードを接続します。

初回のブートアップ時には、アプライアンスが起動してスタンバイ電源モードになるまでに約 2 分かかります。システムの電源ステータスは、前面パネルのシステムの電源ステータス LED で確認できます。LED がオレンジの場合、サーバーはスタンバイ電源モードです。

ステップ 2 次のいずれかの方法を使用して、USB キーボードと VGA モニターをアプライアンスに接続します。

- オプションの KVM ケーブル (Cisco PID N20-BKVM) を前面パネルの KVM コネクタに接続します。USB キーボードと VGA モニタを KVM ケーブルに接続します。
- USB キーボードと VGA モニタを背面パネルの対応するコネクタに接続します。

ステップ 3 Cisco IMC 設定ユーティリティを開きます。

- a) 前面パネルの電源ボタンを 4 秒間長押しして、アプライアンスを起動します。
- b) ブートアップ時に、Cisco IMC 設定ユーティリティを開くよう求められたら F8 を押します。

(注) Cisco IMC 設定ユーティリティを初めて開くと、デフォルトのパスワードの変更を要求するプロンプトが表示されます。デフォルトパスワードは *password* です。強力なパスワード機能が有効になっています。

強力なパスワードの要件は、次のとおりです。

- パスワードは最低 8 文字、最大 14 文字とすること。
- パスワードにユーザー名を含めないこと。
- パスワードには次の 4 つのカテゴリの中から 3 つに該当する文字を含めること。
 - 大文字の英字 (A ~ Z)
 - 小文字の英字 (a ~ z)
 - 10 進数の数字 (0 ~ 9)
 - 非アルファベット文字 (!, @, #, \$, %, ^, &, *, -, _, =, ")。

ステップ4 Cisco IMC 設定ユーティリティを使用したシステムのセットアップ (27 ページ) に進みます。

設定時のアプライアンスへのリモート接続

この手順には、次の機器が必要です。

- 管理 LAN に接続された RJ-45 イーサネット ケーブル X 1。



(注) システムをリモートで設定するには、システムと同じネットワーク上に DHCP サーバーが存在する必要があります。このサーバー ノードの MAC アドレスの範囲を、DHCP サーバーにあらかじめ設定しておく必要があります。MAC アドレスは、前面パネルの引き抜きアセット タグにあるラベルに印字されています。このサーバー ノードでは、Cisco IMC に 6 つの MAC アドレスの範囲が割り当てられています。ラベルに印字されている MAC アドレスは、6 つの連続 MAC アドレスのうち最初のもので。

ステップ1 電源コードをアプライアンスの各電源装置に接続し、次に、接地された電源コンセントに各コードを接続します。

初回のブートアップ時には、アプライアンスが起動してスタンバイ電源モードになるまでに約 2 分かかります。システムの電源ステータスは、前面パネルのシステムの電源ステータス LED で確認できます。LED がオレンジの場合、サーバーはスタンバイ電源モードです。

ステップ2 管理イーサネット ケーブルを背面パネルの専用管理ポートに差し込みます。

ステップ3 事前設定された DHCP サーバーで、サーバー ノードに IP アドレスを割り当てられるようにします。

ステップ4 割り当てられた IP アドレスを使用して、サーバー ノードの Cisco IMC にアクセスし、ログインします。

(注) サーバーのデフォルトのユーザー名は *admin*、デフォルト パスワードは *password* です。

ステップ5 Cisco IMC サーバーの [Summary] ページで、[Launch KVM Console] をクリックします。

別の KVM コンソール ウィンドウが開きます。

ステップ6 Cisco IMC の [Summary] ページで、[Power Cycle Server] をクリックします。

システムがリブートします。

ステップ7 KVM コンソール ウィンドウを選択します。

ステップ8 プロンプトが表示されたら、F8 を押して、Cisco IMC 設定ユーティリティを起動します。

(注) Cisco IMC 設定ユーティリティを初めて開くと、デフォルトのパスワードの変更を要求するプロンプトが表示されます。デフォルトパスワードは *password* です。強力なパスワード機能が有効になっています。

強力なパスワードの要件は、次のとおりです。

- パスワードは最低 8 文字、最大 14 文字とすること。
- パスワードにユーザー名を含めないこと。
- パスワードには次の 4 つのカテゴリの中から 3 つに該当する文字を含めること。
 - 大文字の英字 (A ~ Z)
 - 小文字の英字 (a ~ z)
 - 10 進数の数字 (0 ~ 9)
 - 非アルファベット文字 (!, @, #, \$, %, ^, &, *, -, _, =, ")。

ステップ 9 Cisco IMC 設定ユーティリティを使用したシステムのセットアップ (27 ページ) に進みます。

Cisco IMC 設定ユーティリティを使用したシステムのセットアップ

始める前に

システムに接続して Cisco IMC 設定ユーティリティを開いた後に、次の手順を実行します。



- (注) Cisco ISE ダウンロードサイトから入手した Cisco IMC ファームウェアのバージョン (SNS ハードウェアアプライアンスでの使用が認定されたバージョン) を使用する必要があります。UCS 用の Cisco IMC のバージョンには互換性がありません。Cisco IMC の新しいバージョンは、UCS 用に作成後、SNS ハードウェアアプライアンス用に作成されています。

ステップ 1 NIC モードを設定して、サーバ管理用の Cisco IMC へのアクセスに使用するポートを選択します。

- [Shared LOM EXT] (デフォルト) : これは、工場出荷時設定の Shared LOM 拡張モードです。このモードでは、Shared LOM インターフェイスと Cisco Card インターフェイスの両方がイネーブルです。このオプションを選択した場合は、次のステップで、NIC 冗長性設定にデフォルトの [アクティブ-アクティブ (Active-Active)] を選択する必要があります。
- [共有 LOM (Shared LOM)] : Cisco IMC へのアクセスに 1 Gb/10 Gb イーサネットポートを使用します。このオプションを選択した場合は、次のステップで、NIC 冗長性設定に [アクティブ-アクティブ (Active-Active)] または [アクティブ-スタンバイ (Active-standby)] を選択する必要があります。
- [専用 (Dedicated)] : Cisco IMC へのアクセスに専用管理ポートを使用します。このオプションを選択した場合は、次のステップで、NIC 冗長性設定に [なし (None)] を選択する必要があります。
- [Cisco カード (Cisco Card)] : Cisco IMC へのアクセスに仮想インターフェイスカード (VIC) のポートを使用します。このオプションを選択した場合は、次のステップで、NIC 冗長性設定に [アクティブ-アクティブ (Active-Active)] または [アクティブ-スタンバイ (Active-standby)] を選択する必要があります。

- [VICスロット (VIC Slot)] : Cisco Card NIC モードを使用する場合にのみ、VIC を取り付けた場所に合わせて、この設定を選択する必要があります。ライザー1、ライザー2、またはFlex-LOM (mLOM スロット) を選択できます。
 - [Riser1] を選択した場合は、スロット 1 に VIC を取り付ける必要があります。
 - [Riser2] を選択した場合は、スロット 2 に VIC を取り付ける必要があります。
 - [Flex-LOM] を選択した場合は、mLOM スロットに mLOM タイプの VIC を取り付ける必要があります。

ステップ 2 NIC 冗長性について、次のいずれかのオプションを選択します。

- [None] : イーサネット ポートは個別に動作し、問題が発生した場合にフェールオーバーを行います。この設定は、専用 NIC モードでのみ使用できます。
- [Active-standby] : アクティブなイーサネット ポートに障害が発生した場合、スタンバイ ポートにトラフィックがフェールオーバーします。共有 LOM (Shared LOM) モードと Cisco カード (Cisco Card) モードでは、[アクティブ-スタンバイ (Active-standby)] または [アクティブ-アクティブ (Active-active)] の設定を使用できます。
- [アクティブ-アクティブ (Active-active)] (デフォルト) : すべてのイーサネットポートが同時に使用されます。共有 LOM 拡張モードを選択した場合は、この NIC 冗長性設定のみを使用する必要があります。共有 LOM モードと Cisco カードモードでは、[アクティブ-スタンバイ (Active-standby)] または [アクティブ-アクティブ (Active-active)] の設定を使用できます。

ステップ 3 ダイナミック ネットワーク設定用に DHCP をイネーブルにするか、スタティック ネットワーク設定を開始するかを選択します。

(注) DHCP をイネーブルにするには、DHCP サーバーにこのサーバーの MAC アドレスの範囲をあらかじめ設定しておく必要があります。MAC アドレスはサーバ背面のラベルに印字されています。このサーバでは、Cisco IMC に 6 つの MAC アドレスの範囲が割り当てられています。ラベルに印字されている MAC アドレスは、6 つの連続 MAC アドレスのうち最初のものです。

スタティック IPv4 および IPv6 設定には次が含まれます。

- Cisco IMC の IP アドレス : IPv6 の場合、有効な値は 1 ~ 127 です。
- ゲートウェイ : IPv6 の場合、ゲートウェイが不明な場合は、:: (コロン 2 つ) を入力して none のままに設定することができます。
- 優先 DNS サーバーアドレス : IPv6 の場合、:: (コロン 2 つ) を入力してこれを none のままに設定することができます。

ステップ 4 (任意) VLAN の設定を構成します。

ステップ 5 (任意) サーバーのホスト名を設定します。

ステップ 6 (任意) ダイナミック DNS をイネーブルにし、ダイナミック DNS (DDNS) ドメインを設定します。

- ステップ 7** (任意) [ファクトリデフォルト (Factory Default)] チェックボックスをオンにすると、サーバーは出荷時の初期状態に戻ります。
- ステップ 8** (任意) デフォルトのユーザー パスワードを設定します。
- (注) サーバーのデフォルトのユーザー名は *admin* です。デフォルトパスワードは *password* です。
- ステップ 9** (任意) ポート設定の自動ネゴシエーションをイネーブルにするか、ポート速度およびデュプレックスモードを手動で設定します。
- (注) 自動ネゴシエーションは専用NICモードを使用する場合にのみ使用できます。自動ネゴシエーションはサーバーが接続されているスイッチポートに基づいて自動的にポート速度およびデュプレックスモードを設定します。自動ネゴシエーションをディセーブルにした場合、ポート速度およびデュプレックスモードを手動で設定する必要があります。
- ステップ 10** (任意) ポート プロファイルとポート名をリセットします。
- ステップ 11** F5 を押して、行った設定に更新します。新しい設定が表示され、メッセージ「Network settings configured」が表示されるまでに約 45 秒かかる場合があります。その後、次の手順でサーバーを再起動します。
- ステップ 12** F10 を押して設定を保存し、サーバーを再起動します。
- (注) DHCP の有効化を選択した場合、動的に割り当てられた IP アドレスと MAC アドレスがブートアップ時に表示されます。

BIOS および Cisco IMC のファームウェアの更新



注意 BIOS ファームウェアをアップグレードする場合、Cisco IMC ファームウェアも対応するバージョンにアップグレードする必要があります。アップグレードしないと、サーバーが起動しません。異なるバージョンの Cisco IMC ファームウェアと BIOS ファームウェアを実行することも可能です。

サーバーには、シスコが提供し、承認しているファームウェアが使用されています。シスコは、各ファームウェア イメージと共にリリース ノートを提供しています。

Cisco IMC の GUI または CLI インターフェイスを使用して Cisco IMC ファームウェアと BIOS ファームウェアをアップグレードできます。



(注) Adobe Flash Player はサポートが終了しており、どのブラウザでもサポートされていないため、必要な場合は、Cisco IMC または BIOS ファームウェアをダウンロードするリモートサーバーとして、Cisco IMC コマンドライン インターフェイスと SFTP を使用します。40 MB のファイルサイズ制限に対応するためにも使用できます。

システム BIOS へのアクセス

ステップ 1 ブート中にメッセージが表示されたら、F2 キーを押して BIOS セットアップ ユーティリティに切り替えます。

(注) このユーティリティの [Main] ページに、現在の BIOS のバージョンとビルドが表示されます。

ステップ 2 矢印キーを使って、BIOS メニュー ページを選択します。

ステップ 3 矢印キーを使って、変更するフィールドを反転表示にします。

ステップ 4 Enter キーを押して変更するフィールドを選択し、そのフィールドの値を変更します。

ステップ 5 Exit メニュー画面が表示されるまで右矢印キーを押します。

ステップ 6 Exit メニュー画面の指示に従って変更内容を保存し、セットアップ ユーティリティを終了します (または、F10 を押します)。Esc キーを押すと、変更内容を保存せずにユーティリティを終了できます。

スマート アクセス (シリアル)

このサーバーは、スマート アクセス (シリアル) 機能をサポートしています。この機能により、ホストのシリアルと Cisco IMC CLI を切り替えることができます。

- この機能には、次の要件があります。
 - サーバーの背面パネルの RJ-45 シリアルコネクタ、または前面パネルの KVM コンソールコネクタで DB-9 接続 (KVM ケーブル (Cisco PID N20-BKVM) を使用する場合は) を使用することができる、シリアルケーブル接続。
 - サーバーの BIOS でコンソールリダイレクションを有効にする必要があります。
 - 端末タイプは、VT100+ または VTUFT8 に設定する必要があります。
 - KVM を使用できない場合は、シリアルポートを使用して Cisco ISE をインストールするために Serial-over-LAN (SOL) を無効にする必要があります。
- ホストのシリアルから Cisco IMC CLI に切り替えるには、Esc キーを押した状態で 9 キーを押します。
接続を認証するために Cisco IMC クレデンシャルを入力する必要があります。
- Cisco IMC CLI からホストのシリアルに切り替えるには、Esc キーを押した状態で 8 キーを押します。



(注) Serial over LAN (SoL) 機能が有効になっている場合は、Cisco IMC CLI に切り替えることができません。

- セッションが作成されると、CLI または Web GUI に `serial` という名前で表示されます。



第 3 章

サーバの仕様

- [サーバの仕様 \(33 ページ\)](#)
- [電力仕様 \(34 ページ\)](#)
- [電源コードの仕様 \(38 ページ\)](#)

サーバの仕様

この章では、サーバーの物理仕様、環境仕様、および電源仕様を示します。

物理仕様

次の表に、サーバーの物理仕様を示します。

表 4: 物理仕様

| 説明 | 仕様 |
|---------|---|
| 高さ | 43.2 mm (1.7 インチ) |
| 幅 | 429.0 mm (16.9 インチ) |
| 奥行 (長さ) | サーバーのみ : 740.3 mm (29.5 インチ) サーバーとスライドルール : 787.4mm (31.0 インチ) |
| 重量 | 最大 : 17.0 kg (37.5 ポンド) 最小 : 13.2 kg (29.0 ポンド) |

環境仕様

次の表に、サーバーの環境要件および仕様を示します。

表 5: 環境仕様

| 説明 | 仕様 |
|--|--|
| 動作時温度 | 41 ~ 95 °F (5 ~ 35 °C) 海拔 305 m ごとに最高温度が 1 °C 低下。 |
| 非動作時温度 (サーバーが倉庫にあるか運送中の場合) | -40 ~ 149 °F (-40 ~ 65 °C) |
| 湿度 (RH) (動作時) | 10 ~ 90 % |
| 湿度 (RH) (非動作時) (サーバが倉庫にあるか運送中の場合) | 5 ~ 93% |
| 動作時高度 | 0 ~ 10,000 フィート |
| 非動作時高度 (サーバが倉庫にあるか運送中の場合) | 0 ~ 40,000 フィート |
| 音響出力レベル ISO7779 に基づく A 特性音響出力レベル LwAd (Bels) を測定 73°F (23°C) で動作 | 5.5 |
| 騒音レベル ISO7779 に基づく A 特性音圧レベル LpAm (dBA) を測定 73°F (23°C) で動作 | 40 |

電力仕様



(注) タイプやワット数の異なる電源装置を組み合わせ使用しないでください。両方の電源装置が同じである必要があります。

サポート対象の電源装置オプションの電源仕様を次に示します。

770 W AC 電源装置

この項では、各 770 W の AC 電源の仕様を示します。

表 6: 770 W AC 仕様

| 説明 | 仕様 |
|----------------|---|
| AC 入力電圧 | 公称範囲：100 ～ 120 VAC、200 ～ 240 VAC (範囲：90 ～ 132 VAC、180 ～ 264 VAC) |
| AC 入力周波数 | 公称範囲：50 ～ 60 Hz (範囲：47 ～ 63 Hz) |
| 最大 AC 入力電流 | 100 VAC で 9.5 A 208 VAC で 4.5 A |
| 最大入力電圧 | 950 VA @ 100 VAC |
| 最大突入電流 | 15 A (サブサイクル期間) |
| 最大保留時間 | 12 ms @ 770 W |
| PSU あたりの最大出力電力 | 770 W |
| 電源装置の出力電圧 | 12 VDC |
| 電源装置のスタンバイ電圧 | 12 VDC |
| 効率評価 | Climate Savers Platinum Efficiency (80 Plus Platinum 認証済み) |
| フォーム ファクタ | RSP2 |
| 入力コネクタ | IEC320 C14 |

1050 W AC 電源装置

この項では、各 1050 W の AC 電源の仕様を示します。

表 7: 1050 W AC 仕様

| 説明 | 仕様 |
|----------|---|
| AC 入力電圧 | 公称範囲：100 ～ 120 VAC、200 ～ 240 VAC (範囲：90 ～ 132 VAC、180 ～ 264 VAC) |
| AC 入力周波数 | 公称範囲：50 ～ 60 Hz (範囲：47 ～ 63 Hz) |

| | |
|----------------|--|
| 最大 AC 入力電流 | 100 VAC で 12.5 A 208 VAC で 6.0 A |
| 最大入力電圧 | 1250 VA @ 100 VAC |
| 最大突入電流 | 15 A (サブサイクル期間) |
| 最大保留時間 | 1050 W で 12 ms |
| PSU あたりの最大出力電力 | 800 W @ 100 ~ 120 VAC 1050 W @ 200 ~ 240 VAC |
| 電源装置の出力電圧 | 12 VDC |
| 電源装置のスタンバイ電圧 | 12 VDC |
| 効率評価 | Climate Savers Platinum Efficiency (80 Plus Platinum 認証済み) |
| フォームファクタ | RSP2 |
| 入力コネクタ | IEC320 C14 |

1600 W AC 電源装置

この項では、各 1600 W の AC 電源の仕様を示します。

表 8: 1600 W AC 電源装置の仕様

| 説明 | 仕様 |
|----------------|--|
| AC 入力電圧 | 公称範囲 : AC 200 ~ 240 V (範囲 : AC 180 ~ 264 V) |
| AC 入力周波数 | 公称範囲 : 50 ~ 60 Hz (範囲 : 47 ~ 63 Hz) |
| 最大 AC 入力電流 | 200 VAC で 9.5 A |
| 最大入力電圧 | 200 VAC で 1250 VA |
| 最大突入電流 | 35 °C で 30 A |
| 最大保留時間 | 1600 W で 80 ms |
| PSU あたりの最大出力電力 | 200 ~ 240 VAC で 1600 W |

| | |
|--------------|--|
| 電源装置の出力電圧 | 12 VDC |
| 電源装置のスタンバイ電圧 | 12 VDC |
| 効率評価 | Climate Savers Platinum Efficiency (80 Plus Platinum 認証済み) |
| フォームファクタ | RSP2 |
| 入力コネクタ | IEC320 C14 |

1050 W DC 電源装置

この項では、各 1050 W の DC 電源の仕様を示します。

表 9: 1050 W DC 仕様

| 説明 | 仕様 |
|----------------|--|
| DC 入力電圧 | 公称範囲: -48 ~ -60 VDC (範囲: -40 ~ -72 VDC) |
| 最大 DC 入力電流 | 32 A (-40 VDC 動作時) |
| 最大入力ワット数 | 1234 W |
| 最大突入電流 | 35 A (サブサイクル期間) |
| 最大保留時間 | 100% の負荷で 5 ms (1050 W メインおよび 36 W スタンバイ) |
| PSU あたりの最大出力電力 | 1050 W (DC 12 V 主電源) 36 W (DC 12 V スタンバイ電源) |
| 電源装置の出力電圧 | 12 VDC |
| 電源装置のスタンバイ電圧 | 12 VDC |
| 効率評価 | ≥ 92% (負荷 50%) |
| フォームファクタ | RSP2 |
| 入力コネクタ | 固定 3 線ブロック |

電源コードの仕様

アプライアンスの各電源装置には、電源コードがあります。アプライアンスとの接続には、標準の電源コードまたはジャンパ電源コードを使用できます。ラック用の短い方のジャンパ電源コードは、必要に応じて標準の電源コードの代わりに使用できます。



(注) 使用できるのは、下の表に示す認定済みの電源コードまたはジャンパ電源コードだけです。

表 10: サポートされる電源コード

| Description | 長さ (フィート) | 長さ (メートル) |
|---|-----------|-----------|
| CAB-48DC-40A-8AWG DC 電源コード、-48 VDC、40 A、8 AWG 3 線の 3 ソケット Mini-Fit コネクタ | 11.7 | 3.5』 |
| CAB-C13-C14-AC 電源コード、10 A、C13 ~ C14、埋め込み型コンセント | 9.8 | 3.0 |
| CAB-250V-10A-AR AC 電源コード、250 V、10 A (アルゼンチン) | 8.2 | 2.5 |
| CAB-C13-C14-2M-JP 電源コード、C13 ~ C14 (日本 PSE マーク) | 6.6 | 2.0 |
| CAB-9K10A-EU AC 電源コード、250 V、10 A、CEE 7/7 プラグ (欧州) | 8.2 | 2.5 |
| CAB-250V-10A-IS AC 電源コード、250 V、10 A (イスラエル) | 8.2 | 2.5 |
| CAB-250V-10A-CN AC 電源コード、250 V、10 A (中華人民共和国) | 8.2 | 2.5 |

| | | |
|--|-----|------|
| CAB-ACTW AC 電源コード、250 V、10 A (台湾) | 7.5 | 2.3 |
| CAB-C13-CBN AC キャビネット ジャンパ電源コード、250 V、10 A、 C13 ~ C14 | 2.2 | 0.68 |
| CAB-C13-C14-2M AC キャビネット ジャンパ電源コード、250 V、10 A、 C13 ~ C14 | 6.6 | 2.0 |
| CAB-9K10A-AU AC 電源コード、250 V、10 A、3112 プラグ (オーストラリア) | 8.2 | 2.5 |
| CAB-N5K6A-NA AC 電源コード、200/240 V、6 A (北米) | 8.2 | 2.5 |
| CAB-250V-10A-ID AC 電源コード、250 V、10 A (インド) | 8.2 | 2.5 |
| CAB-9K10A-SW AC 電源コード、250 V、10 A、MP232 プラグ (スイス) | 8.2 | 2.5 |
| CAB-250V-10A-BR AC 電源コード、250 V、10 A (ブラジル) | 8.2 | 2.5 |
| CAB-9K10A-UK AC 電源コード、250 V、10 A (13 A ヒューズ)、BS1363 プラ グ (英国) | 8.2 | 2.5 |
| CAB-9K12A-NA AC 電源コード、125 V、13 A、NEMA 5-15 プラグ (北米) | 8.2 | 2.5 |

| | | |
|---|------|------|
| CAB-AC-L620-C13 AC 電源コード、NEMA L6-20 - C13 コネクタ | 6.6 | 2.0 |
| CAB-9K10A-IT AC 電源コード、250 V、10 A、CEI 23-16/VII プラグ (イタリア) | 8.2 | 2.5 |
| R2XX-DMYMPWRCORD 電源コードなし | 該当なし | 該当なし |

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。